学校番号	1008

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「精選言語文化」　（東京書籍）						
副教材等	「ビジュアルカラー国語便覧　改訂版」（大修館書店） 「高校生の古典文法　七訂版」（啓隆社） 「高校生の古典文法　七訂版　演習編」（啓隆社） 「みるみる覚える古文単語 300+敬語 30　三訂版」（いいずな書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、また周りの人と協働で考える活動を行います。積極的に参加し、周りの人の意見も尊重しながら進めていきましょう。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、意思を伝えるための「書く能力」もしっかりと身に付けてください。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組んでください。授業中のノートやプリントについては、板書を書き写すだけでは評価の対象になりません。授業のポイントや自身で気づいたことやクラスメイトの発言した内容などを、枠外に記入していきましょう。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次の通り育成することをめざす。

（１）　生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
（２）　論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
（３）　言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	歴史的仮名遣いについて学び、説話の面白さを読み取る。 ［教材］ 「宇治拾遺物語」 ・児のそら寝 ・古文学習のしるべ① ・古文学習のしるべ② ・古文学習のしるべ③	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 c：積極的に児と僧の様子や心情を捉え、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	桜に関して書かれた多様な形式の作品を読み比べながら、日本文化における桜のありようを探る。 ［教材］ 桜に関する作品を読み比べる	a：それぞれの作品において桜がどのように詠まれているか理解している。 b[書]：読み手を意識しながら比較した内容を言葉に表現している。 b[読]：進んで桜に関して書かれた多様な形式の作品を読み比べ、学習課題に沿って、日本文化における桜のありようを探ろうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	随筆に表れた作者の考えを、叙述を基に的確に捉える ［教材］ 「徒然草」 ・つれづれなるままに ・ある人、弓射ることを習ふに ・古文学習のしるべ③	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を活かして構成を整理しようとしている。また積極的に表現について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
二学期	表現の特色を踏まえて、作品を読み、歌物語や日記文学に慣れ親しむ。 ［教材］ ・「伊勢物語」芥川 ・「土佐日記」門出	a：古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]：文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 c：粘り強く本文の内容を読み解き、今までの学習を活かして構成を整理しようとしている。また旧暦や旧国名といった古典常識について積極的に調べし、学習課題に沿って理解を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親漢文の特色を知り、訓読のきましむ。 ［教材］ ・訓読の基本	a：我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]：作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 c：積極的に格言について理解する姿勢を持っている。また漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

	・さまざまな時代の恋の歌を読み比べて、ものの見方、感じ方、考え方を深める。 ［教材］ 「恋の歌を読み比べる」	a:我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b「書」:自分の解釈が効果的に。伝わるよう、表現の仕方を工夫することができる。 c:進んで詩歌や楽曲に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、学習課題に沿って、さまざまな時代の恋の歌を読み比べて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
三学期	・話の展開や登場人物の言動を読み取り、寓話に込められた意図について考える。 ［教材］ ・「狐借虎威」	a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:故事成語のもととなった寓話に込められた意図を発表する課題において、粘り強く用例調査に取り組んでいる。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	漢詩に描かれている情景や心情を読み取り、優れた表現に親しむ。 ［教材］ ・「送元二使安西」 ・漢文の窓④	a:我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 b[読]:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。 c:積極的に漢詩の形式ときまりを理解し、学習課題に沿って、漢詩に描かれた情景や心情を読み取り、優れた表現に親しもうとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	・作り物語に表れた多様な思いを、叙述を基に的確に捉える。 ［教材］ ・「竹取物語」	a:古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 b[読]:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 c:進んで文章の展開や表現の特色を理解し、学習課題に沿って、作り物語に表れた多様な思いを的確に捉えようとしている。	ワークシート 定期考査 小テスト	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（古典４０、近代２０）時間